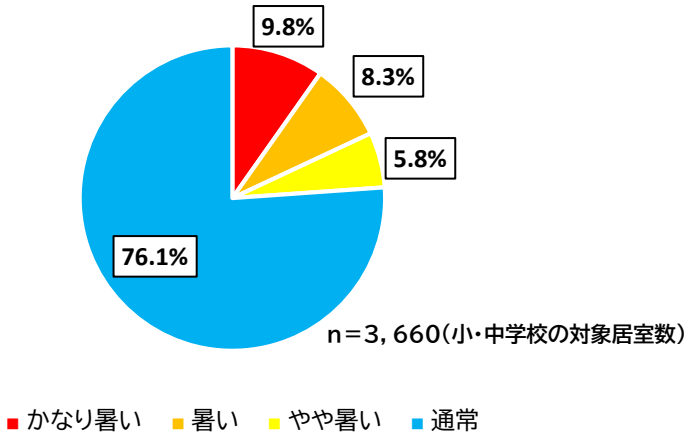
別紙２

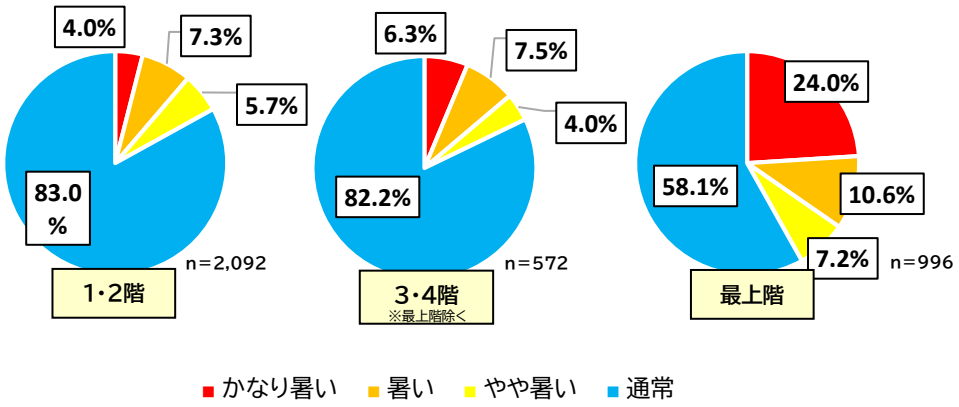
教　育　委　員　会　報　告

令和７年１月１４日

件　　名	**暑さ対策アンケート結果の報告について**
所管部課名	学校運営部学校施設管理課
内　　容	学校における暑さの現状を把握し今後の対策に活かすため、区内全小中学校を対象に実施したアンケート調査について、次のとおり結果を報告する。 **１　調査概要** （１）目的 ア　階や方位による校舎内の暑さの違い及び傾向を把握する。 イ　重点的に取り組むべき暑さ対策の手法や優先順位を検討する。 （２）調査対象 区内全小中学校 （３）調査期間 令和６年１１月１４日～同月２５日 （４）回答方法 令和６年５～１０月の間に、エアコンを作動させた状態でも他の居室に比べて暑かった居室について、「やや暑い」「暑い」「かなり暑い」の中から一つ選ぶ。 **２　調査結果** （１）全体 対象居室全体の２３．９％が「かなり暑い」「暑い」「やや暑い」のいずれかに該当する状況にある。 

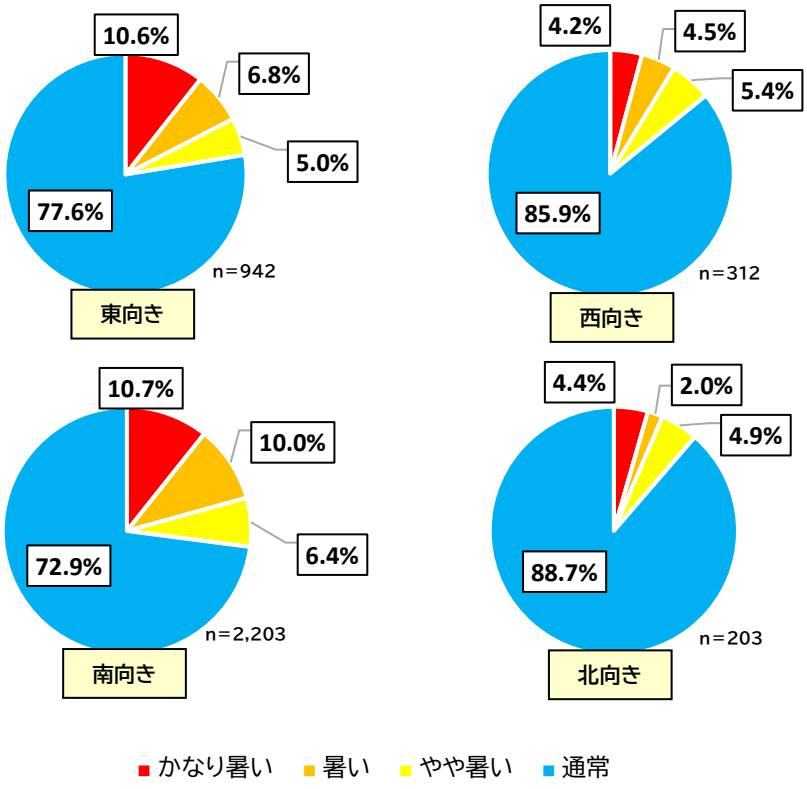
（２）階別

最上階では、対象居室全体の４１．８％で「かなり暑い」「暑い」「やや暑い」のいずれかに該当すると回答があり、下層階との差が顕著である。



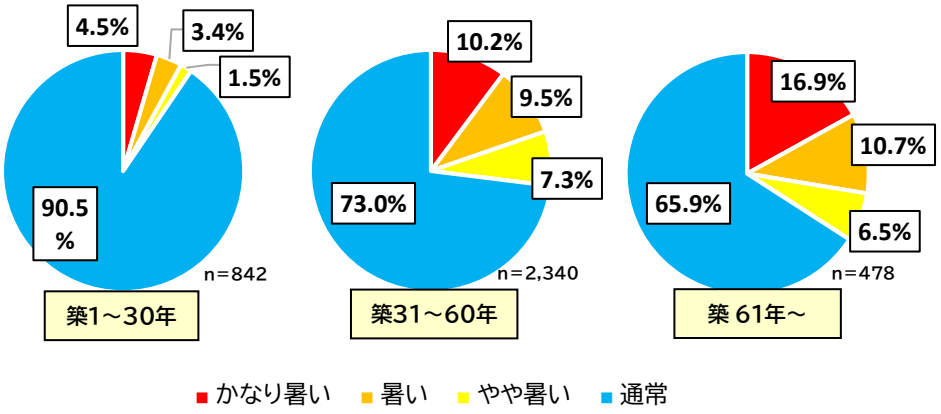
（３）方位別

「南向き」と「東向き」居室が、他の方位に比べて「暑い」傾向にある。



（４）築年別

築年が３０年未満の校舎は、全体の９０．５％の居室が「問題ない」との回答である一方、築年が６１年以上の学校では居室の３割以上が「暑い」状況にあり、築年が古いほど暑い居室の割合が増す傾向である。



３　今後の方針

今回のアンケート集計結果により、特に暑さの傾向が顕著であった学校校舎の「最上階」と「東南向き」の教室等について、今後優先的に対処を行っていく。

（１）断熱改修工事

校舎の屋上防水の改修工事を行う際などに、新たに断熱材を敷き込むなどの補修工事を実施し、屋上の断熱性のさらなる向上を図っていく。

（２）遮熱スクリーンの試験設置

特に校舎最上階の東や南向きの教室等に、遮熱スクリーンを試験設置するなど、日射を遮る対策に取り組んでいく。

【今後の予定】

Ｒ６年度　１～　３月　遮熱スクリーンの試験設置

Ｒ７年度　６～１０月　室温の比較・分析等、効果検証